



2022年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年6月4日

上場会社名 株式会社 ユークス

上場取引所 東

コード番号 4334 URL <https://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 浜 直樹

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 2021年6月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第1四半期の連結業績(2021年2月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	531	22.6	7		221		183	
2021年1月期第1四半期	433	74.7	185		223		238	

(注) 包括利益 2022年1月期第1四半期 191百万円 (%) 2021年1月期第1四半期 248百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	21.26	
2021年1月期第1四半期	27.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第1四半期	3,636	2,709	74.0
2021年1月期	7,465	2,599	34.7

(参考) 自己資本 2022年1月期第1四半期 2,691百万円 2021年1月期 2,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期		0.00		10.00	10.00
2022年1月期					
2022年1月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,873	86.0	241		408		338		39.08
通期	2,872	8.4	143		314		262		30.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期1Q	11,096,000 株	2021年1月期	11,096,000 株
期末自己株式数	2022年1月期1Q	2,444,907 株	2021年1月期	2,444,907 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年1月期1Q	8,651,093 株	2021年1月期1Q	8,651,128 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一時持ち直しの動きが一部で見られたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、東京や大阪で三度目の緊急事態宣言が発出されるなど急速に悪化しており極めて厳しい状況にあります。世界経済におきましても、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、同様に極めて厳しい状況にあります。

当社グループに関連するエンタテインメント業界におきましては、新型コロナウイルス感染症による「巣ごもり需要」の影響もあり、プレイステーション5をはじめソニーのゲーム部門の好調ぶりが伝えられています。しかし、毎年秋に開催される「東京ゲームショウ」は昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響により今年もオンラインで開催されることが発表されました。

そのような環境のもと、当社グループの受託ソフトにおきましては、米国のプロレス団体である「All Elite Wrestling」(以下「AEW」)から開発受託した同団体をモデルとしたプロレスゲームの開発が順調に進行しており、その他複数タイトルの受託ソフトも進行しています。自社コンテンツの「AR performers」においては、「Amazing Radio Performers on the WEB」が継続しています。

パチンコ・パチスロ分野におきましては、複数タイトルの画像開発プロジェクトを受託しており、一部は開発が終了しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は531百万円(前年同期比22.6%増)、為替相場の回復に伴い、主に米ドル建預金の円転による為替差益208百万円を計上したため、経常利益は221百万円(前年同期は経常損失223百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は183百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失238百万円)となりました。

当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,828百万円減少し3,636百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少4,029百万円、売掛金の減少132百万円、仕掛品の増加139百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して3,938百万円減少し927百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の減少4,150百万円、前受金の増加182百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して110百万円増加し2,709百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益183百万円、剰余金の配当86百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2021年1月期決算短信(2021年3月12日公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続で営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在しているものと認識しております。当該重要事象を解消するため、改善策として、以下の取り組みを進めております。

事業面においては、新規案件の開発、企業価値向上に向けた収益力強化を行っております。

新規案件としては、「AEW」から同団体をモデルとしたプロレスゲームの開発受託をいたしました。「AEW」は、ここ数年におけるプロレス業界に革命的な衝撃を与えた設立3年目の新しいプロレス団体です。「AEW」は、世界最高峰の才能を誇るスター選手たちが参戦する興行で、新たなスピリッツと風そしてエネルギーを吹き込み、業界の構図に一石を投じています。当案件は、当社グループの得意分野となる格闘ゲームジャンルであり、またグローバル市場への効果が期待できるタイトルと考えております。それ以外の案件につきましても、海外向けの注力方針を継続し、売上規模の増加を図ってまいります。

資金面においては、当第1四半期連結会計期間末において十分な現金及び預金を保有しており、加えて、金融機関との当座貸越契約・コミットメントライン契約により、当面の事業資金を確保しているため、資金繰り上の懸念はないと判断しております。

これらの改善策を適切に実施していくことにより当該事象を解消できると考えており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,208,076	2,178,517
売掛金	261,368	128,655
商品	4,270	4,270
仕掛品	298,142	437,433
その他	54,585	55,282
貸倒引当金	△521	△143
流動資産合計	6,825,921	2,804,015
固定資産		
有形固定資産	32,586	31,050
無形固定資産	12,981	110,931
投資その他の資産	709,396	805,938
貸倒引当金	△115,500	△115,500
固定資産合計	639,465	832,421
資産合計	7,465,387	3,636,436
負債の部		
流動負債		
買掛金	-	750
短期借入金	4,150,000	-
未払金	271,234	212,685
未払法人税等	12,039	30,178
前受金	119,401	301,968
賞与引当金	80,175	128,148
その他	45,342	64,303
流動負債合計	4,678,193	738,034
固定負債		
長期末払金	62,200	62,200
退職給付に係る負債	108,196	106,687
繰延税金負債	17,352	20,045
その他	250	250
固定負債合計	187,999	189,183
負債合計	4,866,192	927,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	432,218	432,218
利益剰余金	2,441,592	2,538,980
自己株式	△738,320	△738,320
株主資本合計	2,548,392	2,645,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,917	46,112
為替換算調整勘定	△1,367	△178
その他の包括利益累計額合計	38,549	45,933
新株予約権	12,252	17,504
純資産合計	2,599,194	2,709,218
負債純資産合計	7,465,387	3,636,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
売上高	433,321	531,139
売上原価	437,009	406,261
売上総利益又は売上総損失(△)	△3,688	124,878
販売費及び一般管理費	181,791	117,295
営業利益又は営業損失(△)	△185,479	7,582
営業外収益		
受取利息	24,234	3,678
為替差益	-	208,968
その他	2,242	1,856
営業外収益合計	26,476	214,504
営業外費用		
支払利息	985	986
為替差損	63,844	-
営業外費用合計	64,829	986
経常利益又は経常損失(△)	△223,832	221,100
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△223,832	221,100
法人税等	14,359	37,201
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△238,191	183,899
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△238,191	183,899

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	△238,191	183,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,945	6,194
為替換算調整勘定	△2,010	1,188
その他の包括利益合計	△9,955	7,383
四半期包括利益	△248,147	191,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△248,147	191,282
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2020年2月1日 至 2020年4月30日）および当第1四半期連結累計期間（自 2021年2月1日 至 2021年4月30日）

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。